

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ずウェブサイトを確認すること。

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/iaru_gsp.html

1. 概要

IARU Global Summer Program (以下 IARU (イアルー) GSP とする) は、世界トップレベルの IARU (※) 加盟 10 大学が、6 月～8 月に 2～5 週間の期間で開講する短期の留学プログラムです。授業は英語で行われ、各コースには世界トップレベルの IARU 加盟各大学の選考を経て推薦された学生が参加します。

本募集要項により、2013 年夏季に実施される IARU GSP (東京大学で開講されるコースを除く) への派遣学生を募集します。

※IARU (イアルー: International Alliance of Research Universities、国際研究型大学連合):

将来のグローバルリーダーを養成する世界トップクラスの 10 の研究型大学からなる大学連合。研究・教育の様々な連携を行うことを目的として 2006 年 1 月に設立された。

2. 開催地

IARU 加盟 10 大学

オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学、北京大学、カリフォルニア大学バークレー校、ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、東京大学、イエール大学

3. 開講期間・開講コース

2013 年 6 月～8 月の 2～5 週間程度・10 大学 19 コース

詳細は IARU GSP ウェブサイトで確認すること。URL: <http://www.iaruni.org/gsp>

※以下の東京大学において開催されるコースは、本募集による応募申請は必要なく、本学学生は集中講義として通常の授業と同様に受講可能となる予定である。(ただし、教養学部前期課程の学生は履修できない。) 受講を希望する場合は、2013 年夏学期の履修登録時に履修手続を行うこと。他学部聴講となる場合は、所定の手続きに従って履修登録を行うこと。

- ・ Sustainable Urban Management (工学部開講)
- ・ Nanoscience (工学部開講)
- ・ Japan in Today's World (法学部開講)

4. 派遣学生数

各コースに 2 名程度ずつ派遣する。各コースの受入可能人数によっては 3 名以上の場合もある。

5. 参加資格

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 参加コースに必要な英語能力を有すること。必要な英語能力は、TOEFL iBT 80～100、IELTS 6.5

～7.5 (アカデミック・モジュール) を目安とする。

※英語学習を目的としたプログラムではなく、英語で授業・ディスカッションが行われるプログラムであるため、高度な英語能力が必要となる。

※学内選考は成績や志望理由等も含めて総合的に行われるため、目安に満たない場合でも申請は妨げないが、有効期限内の TOEFL iBT はまたは IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの提出は必須とする。TOEIC スコア等上記以外の英語能力検定試験による応募は認めない。

- (2) 申請時に本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在籍しており、かつ派遣期間に本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。派遣期間中に休学している者は参加できない。
- (3) 参加コースが求める条件を満たすこと。コースによっては学年・専攻分野・英語能力等の条件が設けられている場合があるため、各自ウェブサイトを確認すること。
- (4) 履修において不利益とならないよう、平成 25 年度夏学期の授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。(東京大学として推薦できる人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学の機会を失することにつながるため、原則として申請後に辞退することのないよう注意すること。)
- (5) 本学の授業に一定期間出席できない場合等の取扱いについては、派遣時の所属部局の判断による。本プログラムへの参加に際し必ずしも配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。
- (6) 派遣時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、派遣時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。
- (7) 派遣時に所属する予定の部局の担当部署に相談し、申請前に派遣に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名を受け、納得した上で申請すること。
- (8) 本プログラムに参加し所定の要件を満たした場合には、各大学から単位や修了証等が付与されるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは留学時の所属部局の判断による。本プログラムで修得した単位が必ずしも本学の単位となるとは限らないため、納得した上で申請すること。 単位認定の手続き等については、派遣時に所属する予定の部局の担当部署にて事前に確認及び相談すること。

6. 費用

- (1) コースにより異なるため、IARU GSP ウェブサイトで確認すること。原則として、授業料・宿泊料・航空賃・教材費・ビザ取得費用等、参加に要する経費は自己負担となる。
※コペンハーゲン大学のコースについては、本学と同大学とで合意が得られた場合には、本学学生の授業料は無料となる。現在合意に向けて調整中であり、合意が得られた場合は、本学 Go Global ウェブサイトでその旨通知する。
- (2) コースによっては、東京大学・派遣先大学・その他支援団体等から奨学金が支給される場合がある。奨学金を希望する学生は、申請書の所定欄に必要事項を記入すること。奨学金支給の有無や金額は、奨学金支給団体が定める条件(成績・家計基準等)やコース参加費用、本学の海外派遣に使用可能な財源等を勘案の上、決定する。
- (3) 米国大学のコースに参加を希望する者は、Friends of Todai, Inc. (FOTI) による奨学金にも応募可能である。応募を希望する者は、FOTI のウェブサイト (<http://jp.friendsoftodai.org/>) を確認の上、FOTI

へ直接応募すること。

7. 応募締切

所属部局により異なるので、各自現在所属する部局の担当部署に確認すること。

各部局担当部署一覧：<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html>

※IARU GSP 共通のウェブサイト等に記載されている締切日（3月1日）とは異なるので注意すること。

8. 応募方法

「応募書類」欄に記載の応募書類一式（電子ファイル及び紙媒体）を現在所属する部局の応募締切日までに、現在所属する部局の担当部署へ提出すること。

【様式電子ファイル ダウンロード先】

「東京大学海外留学・国際交流情報」ウェブサイト内のIARU GSPのページ

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/iaru_gsp.html

【電子ファイル送付方法】

送付先：現在所属する部局の担当部署

メールタイトル：2013 IARU GSP派遣申請（所属・氏名）

ファイル名： ①（所属・氏名）2013 夏季短期留学申請書

②（所属・氏名）2013 夏季短期留学成績評価係数計算表

③（所属・氏名）2013申請者情報シート

④コースコード_英文苗字_2013 IARU GSP App Form.doc

例) ANU2_Hamada_2013 IARU GSP App Form.doc

9. 応募書類

<電子ファイルで提出するもの>

①2013 夏季短期留学プログラム派遣申請書の Word ファイル（所定様式・署名前のもの）

②成績評価係数計算表の Excel ファイル

③申請者情報シートの Excel ファイル

④2013 IARU Global Summer Program Application Form の Word ファイル（所定様式・英文）

<紙媒体で提出するもの> ※全てA4判で提出すること。

①2013夏季短期留学プログラム派遣申請書（所定様式・和文）

※署名が必要な欄には必ず署名を入手すること。

②成績評価係数計算表

④2013 IARU Global Summer Program Application Form（所定様式・英文）

※第一希望・第二希望それぞれのコースについて1部ずつ作成すること。（ただし、北京大学開講2コースの同時受講を希望する場合のみ、1通のApplication Formで2コース選択可）

※所属・学年等は、申請時ではなく派遣時（2013年4月～）の情報を記入すること。

※学内選考後の派遣先大学での審査でも使用されるため、入念に記載すること。

※GPAの記入は不要。

⑤大学入学後全学期の成績証明書（英文）の写し

※成績評価の基準の説明部分（何段階評価か、等）も含めること。

※国内外を問わず、他大学に在籍していた経験がある者はその大学の成績証明書も提出すること。

⑥その他、コース毎に定められた追加書類

以下のコースでは、追加書類が指定されているため、あわせて提出すること。

●ETH1:Future Cities: Networks and Grammars

a 1-2 page CV, and a motivation letter in addition to the IARU GSP application form.

●CAM1:Shaping the World: Understanding the Past, Predicting the Future

two academic references（推薦状）, stating suitability for the program.

●COP3:Interdisciplinary Aspects of Aging

the applicants are required to write and submit an essay (max. 1 page) together with their application about their interests and plans for their future studies.

●OXF1:Global Challenges of the 21st Century

A statement of purpose (max 300 words) setting out your academic reasons for wishing to attend this program. One reference（推薦状） from an academic at your home institution who knows your work well.

※上記情報は1月15日現在のものであり、ウェブサイト上の記載と異なる場合はウェブサイトを優先する。なお、応募の段階で提出が必要な書類は「shortlistされた後に提出すること」と記載されている書類であり、acceptされた後（Acceptance Letterを受け取った後）に提出すること、とある書類は応募の段階では提出不要である。

⑦TOEFL iBTもしくはIELTS（アカデミック・モジュール）のスコアの写し

（TOEFL iBT・IELTSに関する注意事項）

- （1）TOEICスコア等、上記以外の英語能力検定試験による応募は認めない。
- （2）スコアは2013年2月時点で有効期限内（受験日から2年以内）のものとする。受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする。
- （3）各部局での締切日までにスコアの写しを提出できない場合、2013年3月4日（月）正午まで【必着】は本部国際交流課へスコアの写しを提出することを認める。スコアの写しの差替えを希望する場合も同様とする。
- （4）母国語が英語の学生は、上記スコアの提出は不要とする。その旨申請書の「英語能力」欄に記載すること。母国語が英語にあたるかどうか疑義がある場合には、必ず事前に所属部局の担当部署を通じて本部国際交流課に確認すること。

10. 選考

（1）IARU GSPの希望コースは第2希望まで選択でき、またイェール大学サマープログラム（1月下旬募集開始予定）も併願できる。ただし、学内選考を行い1学生あたり1コースにのみ推薦を行う。なお、過去のコース毎の応募状況については、Go Global ウェブサイトの「統計資料」のページで確認できる。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/about/material.html>

- （2）重複受講が認められている北京大学2コースは、重複受講する場合も2コースで1コースとみなし、北京大学以外のコースをもう一つ希望することができる。
- （3）本学において3月に学内選考を行い、派遣候補学生を各大学に推薦する。学内選考では、提出された書類を審査し、希望順位を勘案して選考を行う。（原則として東京大学本部での面接審査は行わない。）

- (4) IARU GSP では原則学部レベルのコースが提供されるため、学内選考にあたっては学部学生を優先する場合があります。
- (5) より多くの学生に海外体験の機会を提供するため、過去に本プログラムへの参加経験がある学生については、学内選考や奨学金支給の際に優先順位が低くなる。
- (6) 書類不備があった場合等、所属部局または本部国際交流課から申請者に連絡することがあるため、2月～4月はメールや電話に注意しておくこと。
- (7) 3月下旬に派遣先大学における審査が行われる。受入が決まった学生には、現地時間4月12日までに派遣先大学から直接メールで連絡があり、指定日(4月19日の予定)までに参加意思の回答等を行うこととなっている。当該日の前後はメールに注意しておくこと。また、参加意思の回答の際には本部国際交流課をCCに入れること。(メールアドレス: iaru.gsp@adm.u-tokyo.ac.jp)
- (8) 最終的な選考結果は4月下旬頃(予定)までに、申請時及び派遣時の所属部局の部局長あてに通知する。

1.1. 受入決定後の留意事項

- (1) 参加手続き及び渡航手続き等は、派遣先大学等の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。
- (2) やむを得ない事情により派遣を辞退しなければならない場合は、早急に所属する部局の担当部署を通じて本部国際交流課へ連絡すること。
- (3) 査証(ビザ)取得手続きは、派遣先大学の指示に従い、また派遣先国の大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。
- (4) 所属部局の担当部署に確認し、必要な場合は「留学」等の海外渡航に必要な手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属部局毎に異なる。)
- (5) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者に迷惑をかけないよう努めること。
- (6) 一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。
(<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>) 特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。また、参加期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (7) 5月～6月頃、派遣学生へのオリエンテーションを開催するため、やむを得ない事情がない限り参加すること。
- (8) そのほか、東京大学が指示する注意事項に従うこと。

1.2. コース参加の際の注意事項

- (1) IARU GSP の趣旨を十分理解の上、十分な学習成果を挙げ、受講コースを修了することに努めること。
- (2) 本学から選抜された代表学生として海外の大学に派遣されることを自覚し、派遣先大学・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

1.3. 留学後の報告等

- (1) 派遣学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に本部国際交流課が定める報告書(所定様式)、パスポートの写し(「本人氏名、写真等記載欄」と「日本の入国管理局による出入国印」のページ)を本部国際交流課へ提出すること。

- (2) 各種奨学金等を受給した場合は、上記以外にも指定された報告書類を提出すること。
- (3) プログラム終了後、IARU 事務局・派遣先大学から IARU GSP に関してアンケート調査等の依頼があるため、協力すること。
- (3) 本プログラムに参加し所定の要件を満たした場合には、各大学から単位や修了証等が付与されるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは所属部局の判断による。本プログラムで修得した単位等が必ずしも本学の単位となるとは限らない。(単位認定の手続き等については、所属する部局の担当部署にて事前に確認及び相談すること。)
- (4) 応募時の申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。帰国後の成績証明書や修了証の送付・必要事項の連絡の際にも必要となる。
- (5) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、東京大学の国際化に関する業務への協力(留学プログラムの広報や学生へのアドバイス等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限りできる限り協力すること。

14. 関連ウェブサイト

IARU GSP 共通ウェブサイト (IARU 加盟各校共通ページ。各コースの説明等) :

<http://www.iaruni.org/gsp>

東京大学 Go Global ウェブサイト (IARU GSP 応募に関する情報) :

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/iaru_gsp.html

15. 問い合わせ先

- (1) 申請の手続きに関すること : 現在所属する部局の担当部署
- (2) 単位認定等、本学での学務関係の事項 : 留学時に所属する部局の担当部署

各部局担当部署一覧 : <http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html>

- (3) 各コースの内容等 : IARU GSP 共通ウェブサイトに掲載の各大学の GSP Coordinators
- (4) その他の事項 : 本部国際交流課学生・研究者交流チーム (iaru.gsp@adm.u-tokyo.ac.jp)